れきはくセミナー 特別講座 第３回

「東国の古墳文化を語る(6) -東国における巨大前方後円墳の出現と渡来文化-」

若狭 徹（当館特別館長）

12月6日(日)13:30～15:00

当館特別館長の若狭が、昨年度から上毛野地域(群馬県)を含む東国の古墳文化について、連続シリーズでお話ししています。

本年度の第３回(通算６回目)は、いよいよ古墳時代中期に入っていきます。５世紀は、百舌鳥・古市古墳群に代表される巨大前方後円墳の世紀であり、東国にも太田天神山古墳に代表される巨大古墳が出現します。その背景は東国豪族の対外活動にあると考えます。その動態について、関東で出土する渡来文物を交えて考えていきます。



当館特別館長 若狭 徹

【参 加 費】 無料（ただし、展示室観覧の場合は、別途観覧料が必要となります。）

【会　　場】 群馬県立歴史博物館 視聴覚室

【定　　員】 140名

【申込方法】 11月6日(金)より、事前申込が必要です。

○当館HP・右QRコードから入力フォームへアクセス

特別講座 第3回 申込フォーム

※申込はフォーム、電話とも講演会前日の17:00までとなります。
（定員に達した場合は、早めに受付を終了することがあります。）
※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

群馬県立歴史博物館
アイ・ディー・エー
高崎市綿貫町992-1（群馬の森内）
TEL.027(346)5522

ホームページ